

令和六年一月二十三日 信者心の基勉強会 家庭編

神 示

人間は その家庭の「心の道」に

「実体」を受け継いで 生まれてくる

神は その家庭の<sup>や</sup>実体<sup>すがた</sup>に合わせて 「運命」<sup>たましい</sup>を宿す

「運命・実体」が その人間の「人生」を導いてゆく

人生の真実「真理」を知って

信者は「実体」を高める意識が必要

なぜ 家族で「教え」を学び

「真理」で関わる家庭が必要なのか

自然の摂理を悟れぬ人間は

「運命・実体」を生かすことができな

良き因を家庭に残す「道」が分からない

「人たる人の心」が受け継がれずに

人生に迷い 悩む因が ここにある

「実体」を下げ 「運命」を枯らし

開運かなわずに終わって行く

信者に申す

家庭は 人間が「人たる人の心」を身に付けるために

必要不可欠な環境

家庭に「教え」があれば

人間は必ず実体を高めて

神の手の<sup>中</sup> 運命の力に導かれ 守られ 救われてゆく

開運かなえる人間の人生が ここにある